

## 揮発性有機化合物（VOC）の排出抑制にご協力をお願いします！

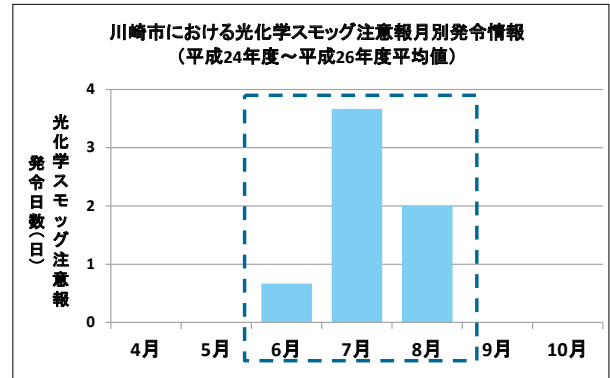
揮発性有機化合物（VOC）は光化学オキシダントの原因物質の1つです。皆様のご協力で、VOCの排出量の削減は進んでおりますが、光化学スモッグ注意報は未だに発令されており、一層の削減が必要と考えられています。

特に、夏季は、気温が高く日射量が多いことから、光化学オキシダントが高濃度になりやすく、毎年6月～9月にかけ光化学スモッグ注意報が発令されることが多いです。

このため、本市では東京都・埼玉県・千葉県・神奈川県・横浜市・千葉市・さいたま市・相模原市と連携し、同一時期に、夏季のVOC対策の取組を行います。

VOCはペンキや接着剤にも含まれています。購入する際は低VOC製品を優先的に選択しましょう。

大気環境の改善のため、より一層のVOCの削減にご協力をお願いします。



問い合わせ：環境局環境対策課

TEL 200-2516 FAX 200-3922

## 大気中の放射線量モニタリング結果 (平成 27 年 5 月)

市では、環境総合研究所（川崎区殿町）、中原大気測定局（中原区小杉町）及び麻生大気測定局（麻生区百合丘）で、建物屋上及び当該測定地点の地表面付近の放射線量（ガンマ線）について測定を行っており、5月の測定結果は次のとおりです。

詳しくは市ホームページをご覧ください。

- 建物屋上（連続測定）・・・約0.02～0.04マイクロシーベルト/時間で推移（5月14日現在）
- 地表面付近（月1回測定）・・・測定結果は次のとおりであり、いずれの地点、高さにおいてもほぼ同じ数値で推移

単位：マイクロシーベルト/時間

地表面からの高さ	環境総合研究所 (土・草地)	環境総合研究所 (アスファルト)	中原大気測定局 (アスファルト)	麻生大気測定局 (土・草地)
100cm・50cm・5cm	0.04～0.05	0.05	0.06～0.07	0.05～0.06

※マイクログレイ/時間で測定した値をマイクロシーベルト/時間に換算して表記しています。

※原子力規制庁によると、「緊急時は、1グレイ＝1シーベルト」として換算します。

※文部科学省によると、一般的な自然界の放射線量レベルの範囲は0.03～0.1マイクロシーベルト/時間です。なお、神奈川県が川崎市内5か所に設置しているモニタリングポスト（地上約3m）の平成21年度（福島第一原子力発電所の事故以前）の年平均値は0.023～0.042マイクロシーベルト/時間でした。

市ホームページ：<http://www.city.kawasaki.jp/300/page/0000037968.html>

問い合わせ：環境局環境対策課

TEL 200-2516 FAX 200-3922

## 浮島埋立処分場における放射能濃度等測定結果 (平成 27 年 5 月)

市では、ごみ焼却灰の埋立に伴い、廃棄物の最終処分場である浮島埋立処分場の敷地境界で空間放射線量（ガンマ線）の測定を行っています。また、埋立処分場の内水等の放射能濃度（放射性セシウム濃度）についても測定を行っており、5月の測定結果は次のとおりです。

詳しくは市ホームページをご覧ください。

- 埋立処分場空間放射線量（連続測定）・・・0.044～0.059マイクロシーベルト/時間で推移（5月14日現在）
- 埋立処分場の内水等・・・測定結果は次のとおり

単位：ベクレル/L

	測定値	基準等	測定頻度
埋立処分場内水	2.1～3.0 (検出下限値:1.0)	国の目安値 75 本市の管理目標値 10	週1回
放流水	2.6 (検出下限値:1.0)	国の目安値 75 本市の管理目標値 10	放流時
外海水	不検出 (検出下限値:1.0)		放流時

※上記掲載の測定値は、4月13日から5月14日までの期間に測定したものになります。

市ホームページ：<http://www.city.kawasaki.jp/300/page/0000045121.html>

問い合わせ：環境局処理計画課

TEL 200-2590 FAX 200-3923